

(1) 実施機関名：

防災科学技術研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）自然災害ハザード・リスク評価と情報の利活用に関する研究
（英文）

(3) 関連の深い建議の項目：

- 4 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究
- (1) 地震・火山噴火の災害事例による災害発生機構の解明
 - (2) 地震・火山噴火災害に関する社会の共通理解醸成のための研究

(4) その他関連する建議の項目：

- 3 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究
- (1) 地震の災害誘因の事前評価手法の高度化
 - ア. 強震動の事前評価手法
 - イ. 津波の事前評価手法
 - エ. 大地震に起因する災害リスクの事前評価手法
- 5 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究
- (1) 南海トラフ沿いの巨大地震
 - (2) 首都直下地震
 - (3) 千島海溝沿いの巨大地震
 - (4) 内陸で発生する被害地震

(5) 本課題の5か年の到達目標：

過去の経験や知見が十分でない低頻度の巨大な自然災害に対しても不確実さを適切に考慮できるハザード・リスク評価手法の高度化研究を行い、地震及び津波ハザードの基盤情報を構築することで、地震調査研究推進本部をはじめとする防災行政に資する情報を整備し、各主体の災害に対する適切な意思決定の支援を目指す。なお、本課題は、防災科学技術研究所の第5期中長期目標達成のために支出されている運営費交付金によって行う。そのため、本到達目標は第5期中長期計画期間が終了する予定である令和11年度末までを対象としている。

(6) 本課題の5か年計画の概要：

過去の経験や知見が十分でない低頻度の巨大な自然災害に対しても不確実さを適切に考慮できるハザード・リスク評価手法の高度化研究を行い、地震及び津波ハザードの基盤情報を整備する。さらに、地震に伴う複合災害のリスク評価手法の開発を行う。これらの研究開発の基盤となる強震動観測記録、地下構造などのデータベース群の整備、及びシミュレーション技術の開発を進める。研究成果を所内外へ発信し活用を促進するハザード・リスク情報プラットフォームを開発するとともに、各主体と連携し共創と研究の高度化を推進する。また、研究成果に基づき地震調査研究推進本部をはじめとする防災行政に資する情報を整備する。なお、本課題は、防災科学技術研究所の第5期中長期目標達成のために支出されている運営費交付金によって行う。そのため、上記は第5期中長期計画期間を対象とした計画概要である。

(7) 令和6年度の成果の概要：

- ・今年度の成果の概要

地震ハザード評価については、過去の経験や知見が十分でない低頻度の大規模災害に対して不確実さを適切に考慮できるハザード・リスク評価手法高度化のため、南海トラフ地震を対象とした認識論的不確実性を考慮するための枠組みの構築を進めるとともに、地震ハザードの基盤情報として、地震活動モデル改良と東海地域の浅部・深部統合地盤構造モデルを反映した2025年起点の確率論的地震動予測地図を作成し、強震動データフラットファイル2023年版をJ-SHIS Labs から公開した。津波ハザード評価については、日本海溝沿い・千島海溝沿いを対象に、地震発生の多様性をさらに考慮した2海域統合確率論的評価を進めるとともに、防災科研の津波ハザード評価に関する研究成果を紹介するWebサイトJ-THIS Labsから英語版の南海トラフ沿いで発生する地震の最大クラスを含む多様性を考慮した確率論的津波ハザード情報を公開した。南海トラフ巨大地震のリスク評価として、リスク指標を特徴量とした類型化手法を適用して抽出した代表的な地震パターンの広域災害シナリオを作成した。

・「関連の深い建議の項目」の目的達成への貢献の状況と、「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望

(8) 令和6年度の成果に関連の深いもので、令和6年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

・論文・報告書等

・学会・シンポジウム等での発表

(9) 令和6年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報：

(10) 令和7年度実施計画の概要：

過去の経験や知見が十分でない低頻度の大規模災害に対しても不確実さを適切に考慮できる地震ハザード・リスク評価手法の高度化研究を進め、2026年起点の確率論的地震動予測地図を作成する。強震動データフラットファイルを活用した地震動予測モデルの構築に着手する。津波ハザード評価では、日本海溝沿い・千島海溝沿いを含めた太平洋沿岸の津波ハザード評価を行う。

(11) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波複合災害研究部門
他機関との共同研究の有無：無

(12) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：

電話：

e-mail：

URL：

(13) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：中村洋光

所属：防災科学技術研究所